

第524号

# 週刊さんいん学問

めざして読んでみる

2 ニコプチNEWS

3 カガクにきづく

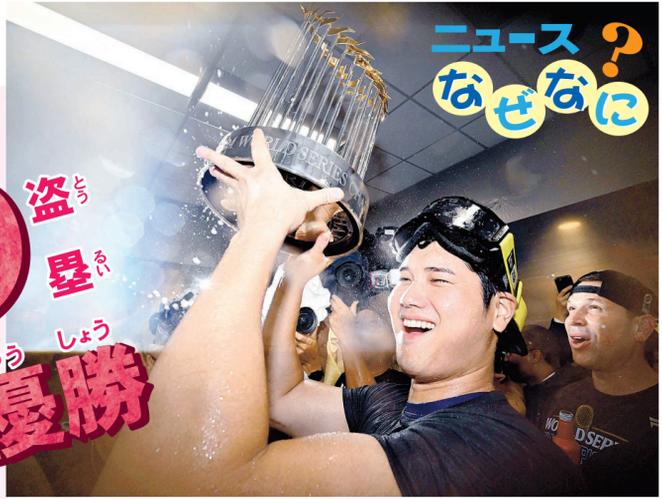
4 まなぶんクロス / 投稿ひろば

きょうの紙面

アメリカ大リーグの今シーズンが終わり、ドジャースの大谷翔平選手は史上初となる偉業を成しとげました。本塁打54本、盗塁59個をマークし、同じシーズンで両方の記録を50以上にする「50-50」を達成。チームの勝利を一番に考える大谷選手らしく「勝つための手段。その数が増えれば勝つ確率も高くなる」との思いを持って数字を積み上げました。このかつやくがチームのプレーオフ進出や4年ぶり8度目のワールドシリーズ優勝につながりました。



## 今シーズン 打者専念で 54本塁打 59盗塁 チームも優勝



アメリカ大リーグのワールドシリーズを優勝し、トロフィーを手に喜ぶドジャースの大谷翔平選手=10月31日、ニューヨーク(共同)

9月19日、アメリカ大リーグ史上初の「50本塁打50盗塁」を達成したドジャースの大谷翔平選手。マイアミ(共同)

本塁打をたくさん打つ打者は身長が高かったり体ががっちりとしていたりしてパワーがありますが、足の速さも備えた人は一流が集まる大リーグでも多くありません。大谷選手は日本にいた時より体がひと回り大きくなって力強さが身に付き、本塁打は2021年に46本、23年に44本を打ちました。

### パワーと速さ

高いレベルであわせ持つめずらしい存在です。本来は右投手、左打者の「二刀流」選手です。昨年9月に右ひじの手術を受けたえいきよで今季は投手で試合に出ませんでした。

### 二刀流復帰は

「二刀流」は日々両方の練習をして準備をしなければならず、対戦相手の研究も投手、打者の両方が必要。今季は打者に専念したことで、チームの得点につながる盗塁を増やすことに力を注ぐことができました。

キャンプでダッシュの練習にはげみ、スタートから早くトップスピードに入れるようになりました。昨年までの盗塁数の自己ベストは21年の26個でしたが、今季はその2倍以上の数字を残しました。来季は投手に復帰した上で、本塁打と盗塁の数を残すのか、ますます注目が集まります。

### けが負っても出場続けた

強豪のドジャースに今季加入した大谷選手にとって、レギュラーシーズン後のプレーオフに出場したのは初めてでした。ナ・リーグの地区シリーズでパドレス相手に3勝2敗、優勝決定シリーズでメッツ相手に4勝2敗で勝ち上がると、年間王者を決めるワールドシリーズでア・リーグを制したヤンキースを4勝1敗で破って頂点に立ちました。ワールドシリーズでは第2戦で盗塁した際に左肩の関節が少し外れるけがを負いました。万全な体調でない中、チームの勝利を目指してグラウンドに立ち続けました。

### まなぶんクイズ

(8日付紙面から出題)  
立冬の7日、冬の味覚として人気の松葉ガニの雄のスイガニが鳥取県の鳥

取港、網代漁港、境漁港で今季初水揚げされ、競りがありました。このうち、鳥取港で競り落とされた最高値はいくらで

- ① 80万円
- ② 120万円
- ③ 150万円

クイズの答えは4面へ

NEWS アラカルト

### 伝統的造り 無形遺産へ



酒造りの様子=10月、兵庫県明石市

日本酒やしょうちゅう、あわもりといった日本の「伝統的造り」が国連教育科学文化機関(ユネスコ)の無形文化遺産に登録される見通しとなりました。日本の無形文化遺産は歌舞伎や和食などがあり、登録されれば23件目です。「杜氏」や「蔵人」といった職人の技と知識によって受けつがれてきた文化と、ユネスコの専門家が認めました。祭りや行事と深く結びついていることも強調しました。日本酒は、国内では昔ほど多くは飲まれていません。一方で最近では海外で和食とともに人気になっています。今回の登録が輸出の好みにになると期待する声が上がっています。

### 文化

全国から八百万の神々を迎える出雲大社(出雲市大社町杵築東)の神迎神事が、旧暦の10月10日に当たる10日夜、出雲大社の西方1\*にある稲佐の浜でござに営まれました。新型コロナウイルス禍で中断された一般の参拝が5年ぶりに再開され、県内外から集まった大勢の人が神事を見守りました。かがり火がたかれた砂浜で神職が祝詞を上げ、

### 全国の神々、出雲に集まる 神迎神事



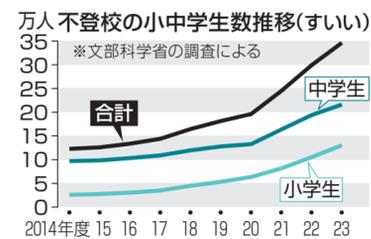
稲佐の浜でござに神事を営む神職=出雲市大社町杵築北

海から神々を迎えました。神職が神々の乗り移った「ひもろぎ」と呼ばれるサカキを絹垣でおおい、出雲大社へ奉安しました。神々は1週間滞在し、1年間の縁結びや農事を話し合う「神議」を行うとされます。旧暦10月は各地の神々が留守になるため「神無月」といわれますが、神々が集まる出雲地方では「神在月」と呼ばれます。

### 社会

2023年度に全国の小中学校で30日以上欠席した不登校の児童生徒は11年連続で増加し、全体の3.7%に当たる34万6482人で過去最多を更新したことが、文部科学省の調査で分かりました。22年度から4万7434人(15.9%)増えました。40人学級で考えると、1クラス当たり1.5人が不登校となる計算です。文科省は、通学を無理強

### 小中不登校34万人で過去最多 文科省調査 11年連続増



いしない保護者が増えたことや、特別な配慮が必要な子どもへの学校側のサポートが不十分などが増加の背景にあるとみられています。不登校の小中学生は13万370人(全体の2.1%)、中学生は21万6112人(同6.7%)。不登校の児童生徒について学校が把握した事実をたずねたところ、「学校生活にやる気が出ない」との相談があった、「不安・抑うつ」の相談があった」などの回答が多数でした。

### アイ=アキツ



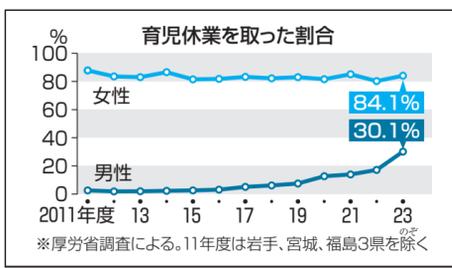
18年連続で受賞

### ニュースのヒント

2023年度、民間の会社で男性が「育児休業(育休)」を取った割合が、初めて3割をこえたことが発表されました。育休は法律で定められ、働く男女が子どもを育てるため仕事を休める制度です。子どもが1歳になるまで休むことができ、延長できる場合もあります。日本では生まれてくる子どもの数が減り続け、お年よりの割合が増えています。国は、このままでは経済に元気がなくなるなどとして、育休を

### 男性の育児休業

### 取った人3割こえるもまだ低く



対策の一つにしています。でも、女性にくらべて男性が育休を取る割合はかなり低く、20年度にやっと1割をこえました。女性に子育てのせきにながたより、子どもを持たない人が増える理由にもなっているようです。育休を取る男性が少ないのは、他の人に仕事をまかせにくいことや、収入を減らしたくないためなどといわれます。国は、休んでも収入があまり減らないよう、お金を出す仕組みにして、男性の育休を増やす考えです。最近では、子育てに積極的な男性も増えています。男性がもっと育児を引き受けられるよう、会社が休みを取りやすくする取り組みも大切です。

ユニークで、人々に考えさせる研究におくられる「イグ・ノーベル賞」。今年も18年連続で日本人の研究が選ばれた。内容は「哺乳類におしりの穴で呼吸できるを発見した」というもの。肺で呼吸できない「低酸素」の状態になったブタなどのおしりの穴に、酸素をとけこませた液体を入れたら、腸が酸素を取りこむことをつぎ止めたそうだよ!